

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	上下水道の整備
-----	---------

担当部局	担当部局長の氏名
上下水道部	中西悦男

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	VI うるおい安全都市						
計画項目	(施策)	⑥ 上下水道の整備						
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	水道施設整備の推進と経営の健全化を図り、安心・安全な水道水を安定的に供給する。また、下水道事業・集落排水事業・浄化槽設置整備事業による水洗化及び都市下水路等による内水対策を推進し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善及び市街地の浸水防止を図る。						
めざす目標	安全でおいしい水を安定給水します 汚水処理施設の普及を進めます	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標			
		老朽管延長(上水道)	32.7km	H17	29.4km	H21	6.5km	H26
		老朽管延長(簡易水道)	46.4km	H17	43.1km	H21	13.9km	H26
		水洗化普及率	47.5%	H17	60.0%	H21	75.0%	H26
※参考 後期基本計画 めざす目標	安全でおいしい水を安定給水します 汚水処理施設の普及を進めます 内水(浸水処理)対策を進めます	指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標			
		老朽管延長(上水道)	32.7km	H17	30.2km	H20	24.0km	H26
		老朽管延長(簡易水道)	46.4km	H17	43.2km	H20	39.5km	H26
		水洗化普及率	47.5%	H17	56.0%	H20	75.0%	H26
		網野町網野・浅茂川地区の浸水対策達成率	新規	-	49.7%	H20	63.9%	H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業		事務事業評価の結果						担当課
			H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 水道基本計画の策定	1	簡易水道事業会計繰出金	320,384	320,384	○	○	維持	維持	水道
	2	簡易水道改良事業	330,635	11,598	○	○	維持	拡大	水道
	3	上水道統合整備事業	381,426	32,726	▲	○	維持	維持	水道
	4	老朽管布設替事業	176,058	22,345	▲	○	維持	維持	水道
	5	上水道統合整備事業	155,300	0	▲	○	維持	維持	水道
3 水洗化の推進	6	水洗化推進支援事業補助金	5,640	5,640	▲	○	維持	拡大	普及
	7	集落排水事業	200,499	2,529	○	○	維持	縮小	下水
	8	浄化槽設置整備事業	40,982	316	▲	▲	維持	維持	下水
	9	浄化槽設置整備事業費補助金	18,804	6,268	○	○	維持	縮小	下水
	10	集落排水事業特別会計繰出金	224,000	224,000	○	○	維持	維持	下水
	11	浄化槽整備事業特別会計繰出金	10,000	10,000	○	○	維持	維持	下水
4 下水道整備事業の見直し	12	公共下水道事業	2,175,416	75,915	○	○	維持	縮小	下水
	13	公共下水道事業特別会計繰出金	526,000	526,000	○	○	維持	拡大	下水
5 都市下水路の整備	14	内水処理対策事業	46,021	1,221	○	○	維持	拡大	土木
	15	都市下水路維持整備事業	6,423	6,423	○	○	維持	維持	都市
計			4,617,588	1,245,365					

CHECK

①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか	
▲	理由 ◎ 予定以上に進んでいる ○ 予定どおり進んでいる ▲ 少し遅れている × 大幅に遅れている 水道施設整備においては、老朽管の布設替が遅れている。下水道の普及率は順調に推移しているが、接続率が低いので接続拡大を図る必要がある。浸水防止のため内水処理施設の建設が急がれる。
②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか	
○	理由 ◎ 有効であった ○ おおむね有効であった ▲ あまり有効でなかった × 有効でなかった 上下水道の整備は、一般会計、1企業会計、4特別会計により事務事業を構成し、会計間の連携をとって施策目的の実現をめざしている。

評価	③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出			
	優先度 高い	事務事業		理由
		14	内水処理対策事業	毎年のように浸水被害が発生しており、早期に施設を建設する必要がある。
		15	都市下水道維持整備事業	施設の維持管理により被害の低減が図れている。
		2	簡易水道改良事業	老朽施設の統合整備、老朽管の布設替が急がれる。
		13	公共下水道事業特別会計繰出金	建設途中の事業であり、接続者が増加するまでは一般会計からの支援が必要である。
	優先度 低い	事務事業		理由
		7	集落排水事業	平成23年度佐濃南処理区工事完了後は事業を縮小。
		9	浄化槽設置整備事業費補助金	集合処理区域の一部が個別処理区域に見直されたことに伴い事業を縮小。
		12	公共下水道事業	集合処理区域の一部が個別処理区域に見直されたことに伴い事業を縮小。



**ACTION**

改善	今後の施策展開をどうするか
	<p>内水処理施設を早期に建設する必要がある。また、平成22年3月に見直した水道事業基本計画及び水洗化計画に沿って、上下水道の整備を推進する。併せて、公共下水道事業については、接続率が低いので、普及推進施策(排水設備工事への補助金、早期接続者への分担金軽減措置、排水設備工事融資への利子補給)のPRと下水道事業普及推進員による活動等により接続拡大を図る。</p>